

**DENON**  
***PROFESSIONAL***

# **DN-500BD MKII**

ユーザーガイド

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

## 製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。  
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] [denonpro.jp](http://denonpro.jp)

**DENON**  
PROFESSIONAL

<お問い合わせ>

inMusic Japan株式会社

カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

[denonpro.jp/support/](http://denonpro.jp/support/)

## ユーザ・ガイド

### はじめに

#### 同梱品

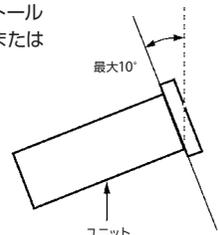
- ・ DN-500BD MKII本体
- ・ 電源ケーブル
- ・ リモコン
- ・ ラック耳、ネジ
- ・ ユーザーガイド / 保証書

#### サポート

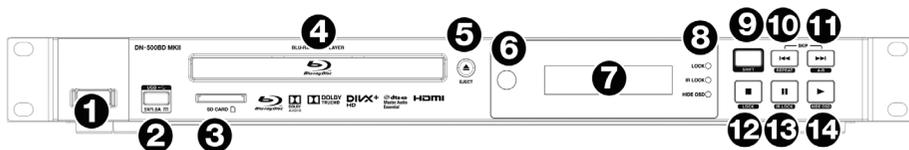
本製品の最新情報(システム要件や互換情報など)は、DENON ProfessionalのWebサイト(denonpro.jp)をご確認ください。また、修理や使用方法などのお問い合わせは、カスタマーサポート(denonpro.jp/support/)にご連絡ください。

#### 安全について

- 電源を入れる前に:** すべての接続が接続ケーブルに問題がなく、安全に正しく行われているか確認してください。本体の電源がオフになっていても、回路の一部に電力が供給されています。長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 換気について:** 本機を換気が不十分な場所や、タバコやほこりなどの多い環境に長時間放置した場合、光ピックアップの表面が汚れ、誤動作する恐れがあります。
- 結露について:** 本体内部と周囲の温度差が大きい場合、内部に結露が発生し、本機が正常に動作しなくなることがあります。このような場合は、電源を切って1~2時間放置し、周囲との温度差がない状態になってから使用してください。
- 携帯電話の使用に関する注意事項:** 本機の近くで携帯電話を使用すると、ノイズが発生することがあります。このような場合には本機から携帯電話を離して使用してください。
- 移動について:** 本機を移動する場合には、まず電源を切り、電源コンセントから電源ケーブルを外します。次に、他のデバイスからの接続ケーブルを外します。
- お手入れについて:** 柔らかい布できれいにキャビネットとパネルを拭きます。化学洗浄剤を使用する場合には、指示に従ってください。本機の清掃に、ベンジン、シンナー、殺虫剤、または他の有機溶剤を使用しないでください。これらは、材料の変更や変色を引き起こす可能性があります。
- ラックマウント時の注意:** EIA 標準19インチ(483mm)ラック、1Uサイズのインストール互換性のあるラック、デバイスを支えられるガイドレールまたはシェルボードを備えたラック
- ラックへの設置:** 本機が正常に動作するには、プレーヤーユニットがフロントパネルの垂直面から10° 以内に取り付けられている必要があります。本体が過度に傾いている場合、ディスクが正しく読み込めないことがあります(画像参照)。

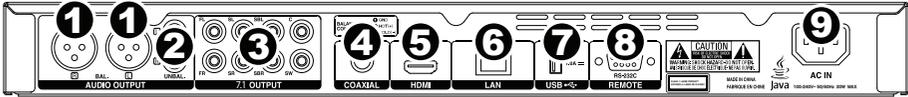


### フロントパネル



- 電源スイッチ: DN-500BD MKII本体の電源のオン/オフを行います。ボタン上のライトが、赤のときはオフ、緑のときはオンを示します。AC 入力電源が電源コンセントに正しく接続されていることを確認してください。また、メディアの再生中には、本機の電源を切らないでください。メディアが損傷する可能性があります。
- USBポート: USBデバイスをこのポートに接続します。詳細については、操作>ファイル再生(ビデオ、オーディオ、または画像)の項目を参照してください。
- SDカードスロット: ここにSDカードを挿入して音楽ファイルを再生します。詳細については、操作>ファイル再生(ビデオ、オーディオ、または画像)の項目を参照してください。
- ディスクトレイ: トレイを開き、互換性のあるディスクをここに挿入します。
- 取り出し: ディスクトレイの開閉を行います。
- リモートセンサー: リモコンを操作するときは、このセンサーに向かって操作をしてください。詳細については、リモコンの項目を参照してください。
- ディスプレイ: この画面には、本機の現在の操作が表示されます。
- モードインジケータ: これらのランプは、特定の機能が有効か無効かを示します(ロック、IRロック、またはOSDを非表示)。詳細については、その他の機能の項目を参照してください。
- シフト: このボタンを押し続けた場合、5つのボタンの隣にある2次機能が実行されます(後述)。
- 巻き戻し(◀◀): 前のチャプター、トラック、またはファイルにスキップできます。Shiftを押しながらこのボタンを押すと、リピートモードが順に切り替わります。詳細については、操作の項目を参照してください。
- 早送り(▶▶): これらのボタンの1つを押すと、前または次のトラックまたはチャプターにスキップします。Shiftを押しながらこのボタンを押すと、再生中にビデオまたはオーディオの一部がリープします。詳細については、操作の項目を参照してください。
- 停止(■): 再生を停止します。Shiftを押しながらこのボタンを押した場合、ロック機能が有効/無効になります。詳細については、その他の機能の項目を参照してください。
- 一時停止(⏸): 再生を一時停止します。Shiftを押しながらこのボタンを押した場合、IRロック機能が有効/無効になります。詳細については、その他の機能の項目を参照してください。
- 再生(▶): 再生を開始または再開します。Shiftを押しながらこのボタンを押した場合、Hide OSD機能が有効/無効になります。詳細については、その他の機能の項目を参照してください。

## リアパネル

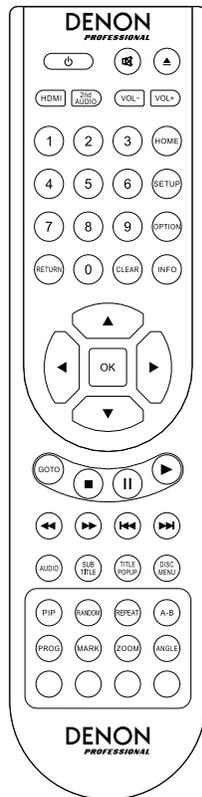


1. オーディオ出力(バランス、XLR)：これらの出力は、オーディオ信号を外部スピーカー、レシーバーなどに送信します。接続には、XLRケーブルを使用します。詳細については、設定>接続の項目を参照してください。
2. オーディオ出力(アンバランス、RCA)：これらの出力は、オーディオ信号を外部スピーカー、レシーバーなどに送信します。接続には、RCAケーブルを使用します。詳細については、設定>接続の項目を参照してください。
3. 7.1出力(アンバランス、RCA)：これらの8系統の出力は、7.1サラウンドサウンドシステムにオーディオ信号を送ります。接続にはRCAケーブルを使用します。お使いのサウンドシステムのマニュアルも合わせて参照してください。
4. 同軸出力：この出力は、デジタルオーディオ信号をテレビに送信します。接続には同軸ケーブルを使用してください。
5. HDMI出力：この出力は、外部デバイスからHDMIオーディオおよびビデオ信号を送信します。接続にはHDMIケーブルを使用してください。
6. LANポート：この入力では、ホストデバイス(通常の場合、コンピューター)を本機に接続することができます。本機から送信されたコマンドにより、ホストデバイスを使用して本機を制御することができます。また、この接続を使用してインターネットにアクセスすることもできます。接続にはイーサネットケーブルを使用してください。
7. USB入力：この入力では、接続されたUSBデバイスからオーディオおよびビデオ信号を受信します。接続には、USBケーブルを使用してください。
8. リモート入力：この入力では、ホストデバイス(通常の場合、コンピューター)を本機に接続することができます。ホストデバイスを使用して送信されたコマンド(RS-232Cシリアル通信)で、本機を制御することができます。
9. AC入力：付属の電源ケーブルを使用して、コンセントに接続します。詳細については、設定>接続の項目を参照してください。

## リモコン

**重要:** リモコンを操作するときは、リモコンを本体のリモートセンサーに向けます。センサーが直射日光や強い人工の光(インバータ式蛍光灯など)、赤外光などに照されると、本機やリモコンが正常に機能しないことがあります。

- 電源 (  ): 本機のオン/オフが切り替わります。ボタン上部のライトは、オフ時には赤色に、オン時には緑色になります。AC入力電源コンセントに正しく接続されていることを確認してください。また、メディアが損傷する可能性があるため、再生中には本機の電源を切らないでください。
- ミュート (  ): 本機の音声がミュートされます。このボタンが機能しない場合は、出力ボリュームをFixedではなくVariableに設定します(設定の調整>設定>オーディオ設定の項目を参照)。
- 取り出し (  ): このボタンを押すとディスクトレイが取り出されます。
- HDMI: このボタンを押すと、使用可能な画像解像度が選択されます: Auto (本機が最適な解像度を自動的に検出します)、480i/576i、480p/576p、720p、1080iまたは1080p。
- 2nd AUDIO: ピクチャー・イン・ピクチャー機能で使用されるオーディオの言語が選択されます。この機能は、それに対応するディスクでのみ使用できます。詳細については、操作>サウンドの調整の項目を参照してください。
- Vol +/-: 音量を上下することができます。これらのボタンが機能しない場合は、出力ボリュームをFixedの代わりにVariableに設定します(設定の調整>設定>オーディオ設定の項目を参照)。
- 番号ボタン(0-9): 対応する番号を入力することができます。メディアの再生時、追加メニューや画面を表示していないときは、数字または数字を入力すると、そのディスクのチャプターまたはオーディオトラックが選択されます。
- RETURN: 前のメニュー/画面に戻ります。
- CLEAR: 現在のフィールドが消去(すべて削除)されます。
- HOME: ホーム画面が開きます。詳細については、操作>入門(ホーム画面)の項目を参照してください。
- SETUP: セットアップメニューが開きます。詳細については、操作>設定の調整>オプションの項目を参照してください。
- OPTION: オプションメニューが開きます。詳細については、操作>設定の調整>オプションの項目を参照してください。
- INFO: 情報画面が開きます。
- カーソルボタン(  ): これらのボタンを使用して、ファイルとフォルダをナビゲートします。
- OK: このボタンを押して選択を確定します。
- GOTO: このボタンを押すと、スキップする時間を手動で入力できます。詳細については、操作の項目を参照してください。



17. 停止( ■ ):このボタンを押すと、再生を停止します。
18. 一時停止( || ):このボタンを押すと、再生を一時停止します。
19. 再生( ▶ ):このボタンを押すと、再生を開始または再開します。
20. サーチ・巻き戻し/早送り(◀◀/▶▶):これらのボタンを押すと、それぞれ巻き戻し/早送りができます。同じボタンを押すたびに、スピードが上がります。通常の再生速度に戻る前にこれを5回まで行うことができます。
21. スキップ・巻き戻し/早送り(◀◀/▶▶):前または次のトラックまたはチャプターにスキップします。
22. AUDIO:ビデオ再生中にこのボタンを押すと、画面の左上隅に現在のオーディオ設定が表示されます。その後ボタンを押す度に、次の使用可能な設定が選択されます。使用可能な設定は、ビデオでサポートされているオーディオ設定に依存します。たとえば、ビデオファイルではステレオ、モノ、左または右を選択でき、Blu-rayディスクではDTS-HD MA(マスターオーディオ)またはDolby Digitalをさまざまな言語で選択できます。
23. SUB TITLE:画面の右上隅に現在の字幕言語が表示されます。その後ボタンを押す度に、次の利用可能な字幕言語が選択されます。字幕を無効にするには、オフを選択します。
24. TITLE POPUP:再生を停止することなくディスクのタイトルメニューが表示されます。
25. DISC MENU:再生を停止し、ディスクのメイン/トップメニューに戻ります。
26. PIP:ピクチャー・イン・ピクチャー機能の有効/無効を切り替えます。
27. RANDOM:ランダムモードが順に切り替わります。詳細については、操作の項目を参照してください。
28. REPEAT:リピートモードを順に切り替えます。
29. A - B:再生中にビデオまたはオーディオの一部をループすることができます。
30. PROG:特定の順序で再生するトラックを選択するためのプログラムページが表示されます。詳細については、操作>オーディオディスクの再生>追加機能の項目を参照してください。
31. MARK:ビデオの特定の位置を「マーク」します。
32. ZOOM:画像を拡大または縮小します。利用できるズーム距離は、2x、3x、4x、1/2、1/3および1/4倍です。画面にズーム倍率が表示されていないときは、通常のズーム倍率で表示されていることを示しています。
33. ANGLE:別のカメラアングルが選択されます。この機能は、特定のDVDまたはBlu-rayディスクでのみ使用できます。
34. 赤、緑、黄、青:使用しているディスクに固有の機能を実行するには、これらのボタンを押します(これらのボタンの使い方については、お使いのディスクに情報が記載されています)。これらの機能はディスクによって異なり、すべてのディスクでサポートされているわけではありません。

## バッテリーの使用

バッテリーを交換するには：

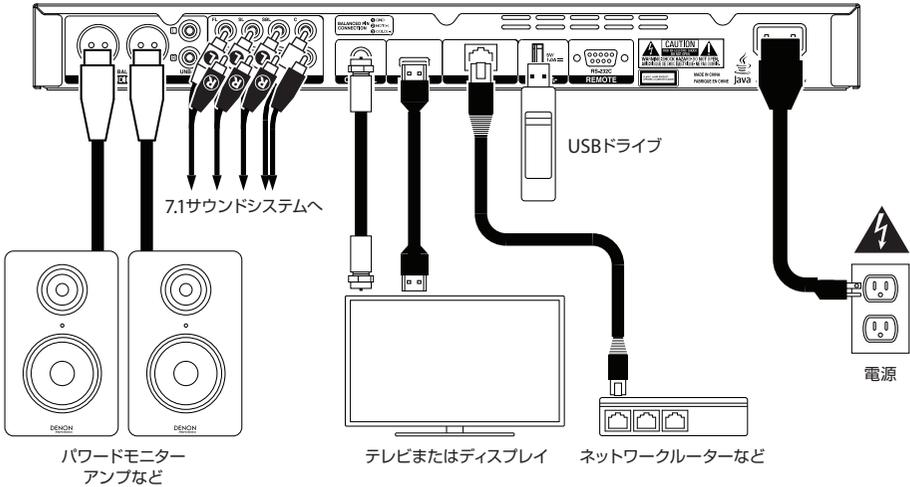
1. リモコンの背面にある小さなタブを内側に押し、バッテリーの蓋を取り外します。
2. 古い電池を取り外し、新しい単4電池を2本挿入します。それぞれが正しい極性(+または-)方向を向いていることを確認してください。
3. バッテリーの蓋を元の位置に戻します。

重要：バッテリーを使用または交換するときは、次の点に注意してください。

- 単4電池を2本使用してください。
- 電池を乱暴に取り扱ったり、分解したりしないでください。
- 電池を交換するときは、極性(+と-)を正しい向きにしてください。
- 高温や直射日光の当たる場所に電池を放置しないでください。
- 幼児や子供の手の届かないところに電池を保管してください。万一、バッテリーを飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- 漏れた電池はすぐに廃棄してください。電解液が皮膚や衣服を燃やす可能性があるため、取り扱いには十分注意してください。電解液が皮膚や衣類に触れた場合は、直ちに水道水で洗い流し、医師に相談してください。
- 電池を廃棄する前に、地方自治体の廃棄処分場に記載されている指示に従って、テープなどで絶縁し、火事の発生しない場所に廃棄してください。

セットアップ

接続



※ はじめに>同梱品リストにないものは別売です。

重要: ケーブルはすべて正しく接続してください(ステレオケーブルの場合: 左は左に、右は右に)。電源ケーブルを束ねたり、包んだりしないでください。

これらの手順のすべてが特定のオーディオ/ビデオの設定に適用されるわけではありませんが、少なくとも手順1と6を行う必要があります。

1. 以下のいずれかの方法で、本機をTVモニターまたはディスプレイに接続します。
  - HDMIケーブルを使用して、HDMI出力をテレビモニターまたはディスプレイのHDMI入力に接続します。
  - オーディオのみ: 同軸ケーブルを使用して同軸出力をTVモニターの同軸入力に接続します。
2. 必要であれば: 次のいずれかまたは両方で、本機をサウンドシステムに接続します。
  - XLRケーブルまたはステレオRCAケーブルを使用して、外部レシーバー、アンプ、パワードスピーカーなどのアナログ入力にオーディオ出力(バランスまたはアンバランス)を接続します。
  - RCAケーブルを使用して7.1出力を7.1サラウンドサウンドシステムに接続します。
3. 必要であれば: 再生可能なコンテンツのに入ったUSBハードドライブをUSBポート(前面パネルまたは背面パネル)に接続します。
4. 必要であれば: 9ピンD-Subケーブルを使用して、リモート入力を制御するホストデバイス(通常はコンピューター)に接続します。
5. 必要であれば: イーサネットケーブルを使用して、LANポートをモデムまたはホストデバイスに接続します。
6. すべての接続が完了したら、付属の電源ケーブルを使用してAC入力をコンセントに接続します。

## 初期ウィザード (Initial Wizard)

1. 本機の電源ボタンを押して電源を入れます。テレビがオンになっていることを確認してください。
2. 初期ウィザード(Initial Wizard)画面が表示されます。初期ウィザードの各ページで：
  - 使用可能なオプションを移動するには、リモコンの上下カーソルボタン(▲▼)を使用します。
  - OKを押して選択を確定し、次のページに移動します。
  - 前のページに戻るには、Skip Back(◀◀)を押します。
3. ページ1で、リモコンのOKを押して次の画面に移動します。
4. ページ2では、ディスプレイで使用する言語を選択します。
5. ページ3では、現地の放送規格を選択します。NTSC、PAL、またはMultiです。Multiは、テレビがNTSCとPALの両方のシステムをサポートしている場合のみ選択してください。
6. ページ4では、テレビの解像度を選択します。OKを押すと、解像度が一時的に変わるので、YesまたはNoを選択して、その解像度を使用するかどうかを決定します。12秒以内にこれを行わないと、解像度は前の設定に戻ります。
7. ページ5では、テレビのアスペクト比を選択します。OKを押すと、アスペクト比が変わり、ページ5が続行されます。そのアスペクト比を使用しない場合はSkip Back(◀◀)を押して、前のページに戻り、別のアスペクト比を選択します。
8. ページ6では、OKを押してホーム画面を表示し、本機の使用を開始するか、Skip Back(◀◀)を押して、前のページに戻ります。

## 操作

本体の電源がオフの場合は、電源ボタンを押してオンにします。

## 入門（ホーム画面）

再生するメディアの種類を選択するには：

1. リモコンで、Homeを押してホーム画面を開きます。
2. リモコンの左右カーソルボタン(◀▶)を押して、オプションを移動します。
  - Blu-ray Disc: Blu-rayまたはDVDフォーマットのビデオディスクを再生する場合に選択します。
  - Media Center: USBドライブ(マスタストレージクラス)またはSDカードのビデオ、オーディオ、画像ファイルを参照する場合に選択します。
  - Setting: 本機の設定メニューを開きます。
3. 選択を確定するには、リモコンのOKを押します。

## ビデオディスクの再生

本機では以下のビデオディスクフォーマットを再生して見ることができます。

対応Blu-rayディスクフォーマット: BD25、BD50、BD-ROM、BD-R、BD-RE

対応DVDフォーマット: DVD、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW

基本的な操作については、次の基本機能の項目を参照してください。

より高度な機能については、後述の追加機能の項目を参照してください。

## 基本機能

**重要:** 本機の上に重いものを置かないでください。ディスクの再生や本体の破損の原因となります。

ディスクを再生するには：

1. 本機本体またはリモコンの取り出し(▲)を押して、ディスクトレイを開きます。
2. ディスクトレイにディスクを挿入し、再度本機またはリモコンの取り出し(▲)を押して閉じます。ディスク読み込み時、ディスプレイにはLoAdが表示され、読み込みが完了したら、bdnUが表示されます。
3. 本機は、以前に再生したことがないディスクが挿入された場合には、自動的に再生を開始します。一方、以前に再生したディスクの場合には、次のいずれかを行うことができます。
  - 最初からディスクを再生するにはリモコンのRETURNキーを押します。
  - 最後に停止した位置からディスクを再生するには、リモコンのOKを押します。

再生を停止するには、本体またはリモコンの停止(■)ボタンを押します。

再生を一時停止するには、本体またはリモコンの一時停止(⏸)を押します。再生を再開するには、本体またはリモコンの一時停止(⏸)または再生(▶)を押します。

巻き戻しと早送りは、リモコンのSearch Back/Forward(◀▶)で行います。同じボタンを押すたびにスピードが上ががり、5回まで行うことができます。その後、通常の再生速度に戻ります。再生を再開するには、本体またはリモコンの再生(▶)を押します。

次のチャプターにスキップするには、本体またはリモコンのSkip Forward(▶▶)を押します。チャプターリピートがオン(後述)の場合には、現在のチャプターの先頭にスキップします。

前のチャプターにスキップするには、本体またはリモコンでSkip Back(◀◀)を2回押します(ただし、現在のチャプターの最初の数秒以内を再生中の場合には1度だけ押しください)。チャプターリピートがオン(後述)の場合には、現在のチャプターの最初にスキップします。

チャプターの先頭に戻るには、本体またはリモコンのSkip Back(◀◀)を1回押します。ただし、現在の章の最初の数秒以内を再生中の場合は、前の章にスキップします。

## 追加機能

ディスクメニューを表示するには、リモコンのDISC MENUを押します。このとき再生が停止されます。

再生を停止せずにタイトルメニューを表示するには、リモコンのTITLE POPUPを押します。

リピートモードを選択するには、リモコンのREPEATを押すか、本体のShiftとSkip Back(◀◀)を押して、3つのモードを順に切り替えて選択します。

- オフ: 通常の操作です。
- チャプターリピート(CH): 現在のチャプターが連続して繰り返されます。このリピートモードでは、Skip Back/Forward(◀▶)を押すと現在のチャプターの先頭にスキップされます。
- タイトルリピート(TT): 現在のタイトルが連続して繰り返されます。



ビデオの一部をループするには:

1. リモコンのA - Bを押して開始点を設定するか、本体のShiftとSkip Forward(▶▶)を押します。A - Bが画面に表示されます。
2. A - Bをもう一度押すか、本体のShiftとSkip Forward(▶▶)をもう一度押して、終了点を設定します。A - Bが画面に表示され、ループとリピートが繰り返されます。
3. ループを停止するには、リモコンのA - Bをもう一度押すか、本体のShiftとSkip Forward(▶▶)をもう一度押します。A - Bが画面から消え、通常の再生が続行されます。

ディスクの特定のチャプターにジャンプするには:

1. リモコンの数字ボタン(0~9)で、希望するチャプターの番号を選択します。
2. OKを押すか数秒待つと、選択が確定され、目的のチャプターが再生されます。キャンセルするには、CLEARを押します。

ディスクの特定のタイトル、チャプター、または時間にジャンプするには:

1. リモコンのGOTOを押します。情報パネルが画面上部に表示されます(タイトル、チャプター、または時間を選択する前に操作をキャンセルするには、GOTOをもう一度押すか、情報パネルの青い正方形のカーソルが消えるまで待ってからINFOを押します)。
2. 左右カーソルボタン(◀▶)を使用して、利用可能なフィールドのいずれかを選択します。
  - **タイトル:**このフィールドの"ロックを解除"するには、OKを押します。上下カーソルボタン(▲▼)または数字ボタン(0~9)でタイトルの番号を選択し、OKを押すとジャンプします。 
  - **チャプター:**OKを押してこのフィールドの"ロックを解除"します。上下カーソルボタン(▲▼)または数字ボタン(0~9)で希望のチャプターの番号を選択し、OKを押してそのチャプターにジャンプします。 
  - **時間:**上下カーソルボタン(▲▼)で、これらの3つのフィールドがチャプター(CH)またはタイトル(TT)の経過時間を表示するかを選択します。その後、OKを押してこれらの3つのフィールドを「ロック解除」します。左右カーソルボタン(◀▶)で、時間、分、秒の各フィールドを選択します。上下カーソルボタン(▲▼)または数字ボタン(0~9)を使用して、2桁の数字として入力します。OKを押すと、チャプター(CH)またはタイトル(TT)の指定した時間にジャンプします。 
3. 別の場所に移動するには、手順1~2を繰り返します。情報パネルを閉じるには、INFOを押します(パネルが閉じない場合は、OKを1回押してからINFOを押します)。

ブックマークは、本機本体のメモリに保存されているビデオ内の特定の場所を指します。最大12個のブックマークを設定ことができ、それらの場所に直接ジャンプして、後でビデオをスキャンする時間を節約できます。

ブックマークを作成するには、ビデオ再生中に希望の場所でリモコンのMARKを押します。画面には、ブックマークの番号、現在のタイトル、現在のチャプター、および現在の時間が表示されます。

ブックマークにジャンプするには:

1. リモコンのMARKを6秒間押し続けます。再生が一時停止し、ブックマークが画面に表示されます。
2. 左右カーソルボタン(◀▶)で、ブックマークを移動します。ブックマークを選択すると、現在のタイトル、現在の章、およびその上の現在の時刻が表示されます。作成したブックマークは白で、未使用のブックマークはグレーで表示されます。
3. OKを押して目的のブックマークにジャンプします。選択したブックマークの場所から再生が再開されます。操作をキャンセルして通常の再生に戻すには、MARKを押します。

ブックマークを消去するには:

1. リモコンのMARKを6秒間押し続けます。再生が一時停止し、利用可能なブックマークが画面に表示されます。
2. 最後に作成したブックマークを消去するには、CLEARを押します。
3. MARKを押してブックマークを閉じ、通常の再生に戻ります。

字幕を表示するには、リモコンのSUB TITLEを押します。現在の字幕言語が画面の右上隅に表示されます。その後、次の利用可能な字幕言語が選択されます。字幕を無効にするには、Offを選択します。

注:この機能を正しく機能させるには、動画に字幕が準備されている必要があります。

## オーディオディスクの再生

本機では、以下のオーディオディスクフォーマットを再生および表示できます:

対応CDフォーマット:CD、CD-R、CD-RW、DTS ミュージックディスク (DTSオーディオCD、5.1ミュージックディスク)、HDCD、スーパービデオ CD (SVCD)、ビデオCD (VCD)

対応DVDフォーマット: DVD、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW

基本的な操作については、次の基本機能の項目を参照してください。

より高度な機能については、後述の追加機能の項目を参照してください。

## 基本機能

CDからオーディオを再生するには:

1. 本体またはリモコンの取り出し(▲)を押して、ディスクトレイを開きます。
2. オーディオCDをディスクトレイに挿入し、本体またはリモコンの取り出し(▲)を再度押して閉じます (CDは正しくファイナライズされている必要があります)。ディスクの読み込み中にはLoAdが表示され、CDの読み込みが終わるとCdが表示されます。
3. CDが自動的に再生されます。

再生を停止するには、本体またはリモコンの停止(■)を押します。

再生を一時停止するには、本体またはリモコンの一時停止(⏸)を押します。再生を再開するには、本体またはリモコンの一時停止(⏸)または再生(▶)を押します。

巻き戻しまたは早送りするには、リモコンのSearch Back/Forward(◀◀/▶▶)を押します。同じボタンを押すたびに速度が上がり、通常の再生速度に戻る前にこれを5回まで行うことができます。再生を再開するには、本体またはリモコンの再生(▶)を押します。

次のトラックにスキップするには、本体またはリモコンのSkip Forward(▶▶)を押します。

前のトラックにスキップするには、本体またはリモコンでSkip Back(◀◀)を2回押します(ただし、現在のトラックの最初の数秒以内を再生中の場合は、1度だけ押してください)。

トラックの先頭に戻るには、本体またはリモコンのSkip Back(◀◀)を1回押します。現在のトラックの最初の数秒以内を再生中の場合、これを行うと前のトラックにスキップされます。

## 追加機能

リピートモードを選択するには、リモコンのREPEATを押すか、ShiftとSkip Back(◀◀)を押します(3つのリピートモードが順に切り替わります)。

- Off:通常の動作です。
- Repeat Track:現在のトラックが連続して繰り返されます。このリピートモードでは、Skip Back/Forward(◀◀/▶▶)を押すと、現在のチャプターの先頭にスキップされます。
- Repeat All:現在のタイトルが継続的に繰り返されます。



再生モードを選択するには、リモコンのRANDOMを押します。3つのモードを順に選択できます。

- Shuffle:CDのトラックはリピート再生されず、ランダムな順番で再生されます。CDのすべてのトラックが再生されると、リピートモードが選択されていない限り、再生は停止します。
- Random:CDのトラックがランダムな順序で再生され、また再生は無期限に続きます。また、トラックは複数回再生することもできます。
- Off:通常の動作です。

トラックのセクションをループするには:

1. リモコンのA - Bを押して希望の開始点を設定するか、本体のShiftとSkip Forward(▶▶)を押します。A-が画面に表示されます。
2. リモコンのA - Bをもう一度押して終了点を設定するか、本体のShiftとSkip Forward(▶▶)をもう一度押してください。A - Bが画面に表示され、ループが始まり、繰り返されます。
3. ループを停止するには、リモコンのA - Bをもう一度押すか、本体のShiftとSkip Forward(▶▶)をもう一度押します。A - Bが画面から消え、通常の再生が続行されます。

ディスクの特定のトラックにジャンプするには:

1. リモコンの数字ボタン(0~9)を使って、トラックの番号を選択します。
2. 選択を確定するには、OKを押すか、数秒待ちます。すると、目的のトラックが再生されます。キャンセルするには、CLEARを押します。

ディスクの特定のトラックまたは時間にジャンプするには：

1. リモコンのGOTOを押します。情報パネルが画面上部に表示されます（トラックまたは時間を選択する前に操作をキャンセルするには、GOTOをもう一度押すか、情報パネルの青い正方形のカーソルが消えるまで待つてから、INFOを押します）。
2. 左右のカーソルボタン(◀▶)を使用して、使用可能なフィールドのいずれかを選択します。

- Track: OKを押してこのフィールドの"ロックを解除"します。上下カーソルボタン(▲▼)または数字ボタン(0~9)を使用して目的のトラックの番号を選択し、OKを押すとジャンプします。
- Time: 上下カーソルボタン(▲▼)を使用して、これらの3つのフィールドがトラックまたはディスクの経過時間を表示するかどうかを選択します。その後、OKを押してこれらの3つのフィールドを「ロック解除」します。左右のカーソルボタン(◀▶)を使用して、時間、分、秒の各フィールドを選択します。上下カーソルボタン(▲▼)または数字ボタン(0~9)を使用して、それぞれ2桁の数字を入力します。OKを押すと、トラックまたはディスクのその時間にジャンプします。



3. 別の場所にジャンプするには、手順1~2を繰り返します。情報パネルを閉じるには、INFOを押します。

プログラム(特定の順序で再生するトラックリスト)を作成するには：

1. リモコンのPROGを押します。プログラムページが画面に表示されます。

Programページでは、メディアの種類と合計トラック数(Track Total)が、Programの15の利用可能なスロットの上に表示されます。

2. Programページで以下のいずれかの操作を行います。
  - 本体またはリモコンの再生(▶)を押すと、プログラムの再生が開始されます。
  - リモコンのRETURNキーを押すと、いつでもプログラムページを終了できます。これにより、プログラムのすべてのスロットがクリアされます。
  - リモコンのOKを押すと、プログラムの現在のスロット(黄色で示されている)がロック解除されます。上下カーソルボタン(▲▼)または数字ボタン(0~9)を使用して目的のトラックを入力し、OKを押して選択を確定します。
  - プログラムの現在のスロット(黄色で示されている)にトラック番号が含まれている場合は、リモコンのCLEARを押してそのスロットをクリアします。

Programページが表示されているときは、上記以外のボタン(本体またはリモコン)は使用できません。

## ファイルの再生（ビデオ、オーディオ、または写真）

本機では、USBドライブ（マストレージクラス）上の次のファイル形式を再生することができます。:

対応ビデオファイル形式: .3gp、.asf、.avi、.dat、.divx、.mkv、.mov、.mp4、.mpg、.m2ts、.ogm、.rmvb、.tp、.ts、.wmv

字幕フォーマット（ビデオ用）: .ass、.smi、.srt、.ssa、.sub

対応オーディオファイル形式: .ape、.flac、.m4a（AAC）、.mp3、.wav

対応静止画形式: .gif、.jpg（または.jpeg）、.png

**重要:** USBドライブまたはSDカードは、FAT16、FAT32、またはNTFSファイルシステムを使用する必要があります。

基本的な操作については、次の基本機能の項目を参照してください。

より高度な機能については、後述の追加機能の項目を参照してください。

### 基本機能

#### USBドライブ

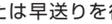
ファイルをブラウズしてファイルを再生するには:

1. USBドライブを前面パネルまたは背面パネルのUSBポートに挿入します。本機がUSBドライブを認識すると、ディスプレイにUSB Inが表示されます。
2. リモコンのHOMEを押してホーム画面を表示します。
3. 左右カーソルボタン（◀▶）を押してMedia Centerを選択し、OKを押します。Media Centerが画面に表示されます。
4. Media Centerで次のいずれかの操作を行います。
  - 上下カーソルボタン（▲▼）で、リスト内の前/次の項目に移動します。
  - 選択したフォルダに入るには、OKまたは再生（▶）を押します。
  - 左のカーソルボタン（◀）またはRETURNを押して、次に高いフォルダ（現在のフォルダの1つ上の階層）に戻ります。または、上カーソルボタン（▲）を使用して、リストの一番上にある（. at the top of the list）と書かれたフォルダーに移動し、OKまたは再生（▶）を押します。
  - 選択したファイルを再生するには、OKまたは再生（▶）を押します。以前にファイルを再生し、終了前に停止した場合、その時点からファイルが再生が開始されます。
  - TITLE POPUPを押すと、プレイリストの作成に関するオプションが表示されます。これについては、以下の追加機能の項目を参照してください。
  - HOMEを押してホーム画面に戻ります。

Media Centerを使用している間は、上記以外のボタン（本体またはリモコン）を使用することはできません。

再生を停止するには、本体またはリモコンの停止（■）を押します。

再生を一時停止するには、本機またはリモコンの一時停止(  )を押します。再生を再開するには、本機またはリモコンの一時停止(  )または再生(  )を押します。写真を見ながら、これらのボタンを使ってスライドショーの再生を一時停止または再開できます。

巻き戻しまたは早送りを行うには、リモコンのSearch Back/Forward(  )を押します。同じボタンを押すたびに、速度が上がります。通常の再生速度に戻る前にこれを5回まで行うことができます。再生を再開するには、本体またはリモコンの再生(  )を押します。

画像を表示しているときに、これらのボタンを使ってスライドショーの速度を変更できます(低速、中速、または高速)。

次のファイルにスキップするには、本体またはリモコンのSkip Forward(  )を押します。

前のファイルにスキップするには、本体またはリモコンでSkip Back(  )を2回押します(ただし、現在のファイルの最初の数秒以内を再生中の場合は、1回押すだけです)。

写真を表示している場合、このボタンは1回のみ押します。

ファイルの先頭に戻るには、本体またはリモコンのSkip Back(  )を1回押します。ただし、現在のファイルの最初の数秒以内を再生中の場合は、前のファイルにスキップされます。

写真を表示しているときにこのボタンを押すと、前のファイルにスキップします。

オーディオファイルを再生すると、ファイル名、タイプ(ファイル形式)、合計時間、タイトル、アーティスト、アルバム、ジャンルの情報が画面に表示されます。最後の4つの項目は、通常、ID3タグとして含まれていますが、必ずしもすべてのオーディオファイルに存在するとは限りません。ファイルにID3タグがない場合、フィールドは空白になります。

写真を表示している場合には、以下の操作を行うことができます：

- 上カーソルボタン(▲)を押すと、画像を上下に反転(ミラー)します。
- 下カーソルボタン(▼)を押すと、画像が左右反転(反転)します。
- 左カーソルボタン(◀)を押すと、画像を反時計回りに90°回転します。
- 右カーソルボタン(▶)を押すと、画像を時計回りに90°回転します。

## 追加機能

プレイリストは、あらかじめ決められた順序で再生するオーディオ、写真、またはビデオファイルのカスタマイズされたセットです。プレイリストを使用して、選択した順序でメディアを再生できます。

**重要:**プレイリストには、写真ファイル、オーディオファイル、またはビデオファイルのみを含めることができます。また、メディアが異なるプレイリストは作成できません(例:写真とビデオファイルを含むプレイリスト)。

ファイルの再生リストを作成するには：

1. Media Centerでファイルを参照しながら、プレイリストに追加するファイルを選択し、右カーソルボタン(▶)を押します。ファイルの横にチェックマークが表示されます。同じフォルダにあるプレイリストに追加する他のファイルについても、この手順を繰り返します(フォルダから抜けると、すべてのチェックマークが消去されます)。

現在のフォルダ内のすべてのファイルを選択するには、TITLE POPUPを押し、Select Allを選択した後、OKを押します。すべてのファイルの横にチェックマークが表示されます。

現在のフォルダ内のすべてのファイルの選択を解除するには、TITLE POPUPを押し、Clear Allを選択した後、OKを押します。ファイルの横にあるチェックマークはすべて消去されます。または、フォルダから抜けます。

2. 少なくとも1つのファイルが選択されている場合(チェックマークが付いている場合)、TITLE POPUPを押し、次にOKを押してAdd to Playlistを選択します。そのフォルダ内の選択したファイルがプレイリストの末尾に追加され、チェックマークが消えます。

プレイリストを再生するには：

1. Media Centerの最上位フォルダに移動します。
2. プレイリストフォルダを選択し、OKを押します。
3. 目的のファイルタイプのフォルダ(写真、音楽、またはビデオ)を選択します。
4. 再生を開始するファイルを選択し、本体またはリモコンの再生(▶)を押すか、リモコンのOKを押します。プレイリストの再生が開始されます。

プレイリストからファイルを削除するには：

1. Media Centerの最上位フォルダに移動します。
2. プレイリストフォルダを選択し、OKを押します。
3. 目的のファイルタイプのフォルダ(写真、音楽、またはビデオ)を選択します。
4. プレイリストから削除するファイルを選択し、右カーソルボタン(▶)を押します。ファイルの横にチェックマークが表示されます。同じフォルダにあるプレイリストから削除する他のファイルについても、これを繰り返します(フォルダの階層を抜けると、すべてのチェックマークが消去されます)。

現在のフォルダ内のすべてのファイルを選択するには、TITLE POPUPを押してSelect Allを選択し、OKを押します。すべてのファイルの横にチェックマークが表示されます。

現在のフォルダ内のすべてのファイルの選択を解除するには、TITLE POPUPを押し、Clear Allを選択し、OKを押します。ファイルの横にあるチェックマークはすべて消去されます。または、フォルダの階層を抜けます。

5. 少なくとも1つのファイルが選択されている場合(チェックマークが付いている場合)、TITLE POPUP を押してから、OKを押してRemove from Playlistを選択します。そのフォルダ内の選択したファイルがプレイリストから削除されます(この操作によってUSBドライブからファイルが消去されることはありません。ファイルは元のフォルダに残ります)。

ブックマークは、本体のメモリに保存されているビデオ内の特定の場所です。最大12個のブックマークを設定し、それらの場所に直接ジャンプして、後でビデオをスキャンする時間を節約できます。

ブックマークを作成するには、ビデオ再生中に希望の場所でリモコンのMARKを押します。画面にブックマークの番号、現在のタイトル、現在のチャプター、および現在の時間が表示されます。

ブックマークにジャンプするには:

1. リモコンのMARKを6秒間押し続けます。再生が一時停止し、利用可能なブックマークが画面に表示されます。
2. 左右カーソルボタン(◀▶)を使用して、ブックマークを移動します。ブックマークを選択すると、現在のタイトル、現在の章、およびその上の現在の時刻が表示されます。使用可能なブックマークは白で、未使用のブックマークはグレーで表示されます。
3. OKを押して目的のブックマークにジャンプします。そのブックマークの場所から再生が再開されます。操作をキャンセルして通常の再生に戻すには、MARKを押します。

ブックマークを消去するには:

1. リモコンのMARKを6秒間押し続けます。再生が一時停止し、利用可能なブックマークが画面に表示されます。
2. 最後に作成したブックマークを消去するには、CLEARを押します。
3. MARKを押してブックマークを閉じ、通常の再生に戻ります。

## サウンドの調整

**重要:**Vol -/+とMUTEボタンが機能しない場合、Output VolumeをFixedではなくVariableに設定します(設定の調整>設定>オーディオ設定の項目を参照してください)。

音量を調節するには、リモコンのVol -/+ボタンを使用します。または、テレビ、リモコン、オーディオレシーバー、アンプなどの音量調整コントロールを使用します。

**重要:**これらのボタンは、オーディオ出力と7.1出力の出力レベルのみを制御します。これらの出力を使用していない場合は、テレビ、リモコン、オーディオレシーバー、アンプなどのボリュームコントロールを使用してください。

音声をミュート/ミュート解除するには、リモコンのMUTE(  )を押します。

**重要:**このボタンは、オーディオ出力と7.1出力のみをミュート/ミュート解除します。これらの出力を使用しない場合は、テレビのリモコン、オーディオレシーバーまたはアンプなどのミュートボタンを使用してください。

オーディオ設定を変更するには、リモコンのAUDIOを押します。現在のオーディオ設定が画面の左上隅に表示されます。その後、AUDIOボタンを押すたびに、次の使用可能な設定が選択されます。使用可能な設定は、ビデオのサポートされているオーディオ設定によって異なります。たとえば、ビデオファイルではステレオ、モノ、左または右を選択でき、Blu-rayディスクではDTS-HD MA(マスターオーディオ)またはDolby Digitalをさまざまな言語で選択できます。この機能はビデオ再生中のみ利用できます。

または、Optionsメニューのオーディオ設定を変更します。これを行う方法については、設定の調整>オプションの項目を参照してください。

ピクチャー・イン・ピクチャー機能で使用するオーディオの言語を選択するには、リモコンの2nd AUDIOを押します(ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使用すると、再生中に通常画面の小さな画面で追加のコンテンツを表示できます。この機能は、対応するディスクでのみ使用できます)。

または、Optionsメニューでこの機能を有効/無効にします。これを行う方法については、設定の調整>オプション> BDMVオプションの項目を参照してください。

## 画像の調整

画像の解像度を変更するには、リモコンのHDMIを押します。ボタンを押すたびに次の使用可能な解像度が選択されます: AUTO(本機が最適な解像度を自動的に検出します)、480i/576i、480p/576p、720p、1080iまたは1080p。

または、Settingメニューで解像度を変更します。これを行う方法については、設定を調整するの項目を参照してください。

ピクチャー・イン・ピクチャー機能を有効/無効にするには、リモコンのPIPを押します。この機能を使用すると、再生中に通常画面の小さな画面で追加のコンテンツを表示できます。この機能は、それに対応するディスクでのみ使用できます。

または、Optionsメニューでこの機能を有効/無効にします。これを行う方法については、設定の調整>オプションの項目を参照してください。

ヒント: PIP Mark機能を有効または無効にして、ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使用して表示できるセカンドリビデオがあることを示すことができます。これを行う方法については、設定の調整>設定>再生設定の項目を参照してください。

ズーム距離を変更するには、ZOOMを押します。使用可能なズーム倍率は、2x、3x、4x、1/2、1/3 および1/4倍です。画面にズーム距離が表示されていないときは、通常のズーム倍率になります。

カメラの角度を変更するには、リモコンのANGLEを押して、目的の角度を選択します。この機能は、特定のDVDまたはBlu-rayディスクでのみ使用できます。

または、Optionsメニューでこの機能を有効/無効にします。これを行う方法については、設定の調整>オプションの項目を参照してください。

## その他の機能

### ロック

ロック機能は、本機フロントパネル上のボタンのほぼすべてを無効にします。これにより、誤った再生の変更を防ぐことができます。

ロック機能を有効または無効にするには、Shiftキーを押したまま、本体の前面パネルでSTOPを押します。ロックを有効にすると、ディスプレイの右側にあるロックランプが点灯します。

Lockが有効になっている間も、次の操作を実行できます。

- 前面パネルのロック機能を無効にする。
- 前面パネルの電源ボタンを使用して本機の電源をオフにします。
- リモコンの任意の機能を使用します (IRロック機能が有効になっていない場合)

## IRロック

IRロック機能は、(本体の前面パネルの赤外線センサーを無効にすることによって)リモートコントロールを無効にします。これにより、誤った再生の変更を防ぐことができます。

IRロック機能を有効/無効にするには、Shiftを押したまま、本体の前面パネルでPAUSEを押します。IRロックを有効にすると、ディスプレイの右側にあるIRロックランプが点灯します。

IRロックが有効になっている間も、(ロック機能が有効になっていない限り)前面パネル上の機能は引き続き使用できます。

## OSDを非表示にする

Hide OSD機能は、ホーム画面(ブルーレイディスク、メディアセンター、およびSetting)に通常表示されるオプションを隠し、起動プロセスを簡素化します。DVD/CD Auto PlayがOnに設定されていると、ディスクを挿入するだけですぐに再生が開始されます。ディスクを再生するたびにホーム画面にアクセスする必要はありません(設定の調整>設定>再生設定の項目を参照)。

Hide OSD機能を有効/無効にするには、Shiftを押したまま、本体の前面パネルでPLAYを押します。Hide OSDを有効にすると、ディスプレイの右側にあるHide OSDライトが点灯します。

## 設定を調整する

### 設定

Settingメニューでは、本機の全体の操作に関する設定を変更できます。再生(下記再生設定を参照)、ビデオ(下記ビデオ設定を参照)、サウンド(下記オーディオ設定を参照)、ネットワーク接続(下記のネットワーク設定を参照)、または本機自体(下記デバイス設定を参照)を設定することができます。

Settingメニューに入るには、次のいずれかの操作を行います。

- ホーム画面でリモコンの左右カーソルボタン(◀▶)を押してSettingを選択し、OKを押します。
- リモコンのSETUPを押します(ディスクがビデオを再生している間は無効になります)。

Settingメニューで、リモコンを使用して次のいずれかの操作を行います。

- 左右カーソルボタン(◀▶)を使用して、ウィンドウ上部の5つのアイコンのいずれかを選択します。再生設定、ビデオ設定、オーディオ設定、ネットワーク設定、またはデバイス設定の、各アイコンを選択すると、その下のウィンドウに関連するメニューと設定が表示されます。OKまたは下カーソルボタン(▼)を押して、これらの設定を表示および編集します。
- リストを移動するには、上下カーソルボタン(▲▼)を使用します。現在の項目は青で囲まれています。
- 項目の右側に矢印(▶)がある場合は、OKまたは右カーソルボタン(▶)を押して、追加オプションを含むサブメニューを開くことができます。
- 項目の左側に矢印(◀)がある場合は、左カーソルボタン(◀)を押すと、一番上のメニューに戻ることができます。
- サブメニューでは、現在選択されているオプションの隣に円が表示されます。上下カーソルボタン(▲▼)を使用して別のオプションを選択することができます。OKを押して選択を確定するか、左のカーソルボタン(◀)を押して何も変更することなく一番高い次のメニューに戻ります。

## 再生設定

### ● パワーオンモード

- Repeat Mode : Onに設定すると、DVDもしくはCDのタイトルが連続して再生されます。
- DVD/CD Auto Play: Onに設定すると、ディスクを挿入すると自動的に再生が開始されます。Offに設定すると、ディスクを挿入した後、手で再生を開始する必要があります。

重要: ブルーレイディスクについて、Auto PlayをONにして、Repeat Modeを使用できません。  
ブルーレイディスクのリPEAT再生は再生後リモコンのRepeatボタンより操作してください。

### ● 設定

- PIP Mark: Onに設定すると、ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使用して表示できるセカンダリビデオがあることを示すマークが画面に表示されます。Offに設定すると、これらのマークは無効になります(ピクチャー・イン・ピクチャー機能は引き続き使用できます)。
- Auto Resume: Onに設定すると、本機はディスクの再生を停止した場所を「記憶」します。そのディスクの再生を再開すると、その時点またはディスクの先頭から開始することができます。本機は最大5枚のディスクに対してこれを行うことができ、新しいディスクを覚える必要がある場合は最も古いディスクの内容と交換します。Offに設定すると、この機能は無効になります。

### ● 言語

- OSD: 本機のメニュー、画面、ウィンドウなどに表示されるテキストの言語。
- Menu: ディスクメニューに表示されるテキストの言語。この機能が正しく動作するには、ディスクが選択された言語を表示できる必要があります。
- Audio: ディスク上のオーディオの言語。この機能が正しく動作するには、ディスクが選択された言語のオーディオを再生できる必要があります。
- Subtitle: ビデオ再生中に表示される字幕の言語。この機能を使用するには、選択した言語の字幕が必要です。

### ● セキュリティ

- Change Password: ペアレンタル・コントロール・パスワードを変更する場合に選択します。パスワードは4桁でなければなりません。番号を入力するには、数字ボタン(0~9)を使用します(現在のパスワードを最初に入力する必要があります。正しく入力するためには、新しいパスワードを2回入力する必要があります)。
- Parental Control: 視聴可能な最大評価を、G、PG、PG-13、R、NC-17またはAdultの中から選択します。Offに設定されている場合(またはディスクまたはビデオファイルにレーティング情報が含まれていない場合)、コンテンツは制限されません。
- Country Code: 国を選択するときに使用します。

## ビデオ設定

### ● 出力設定

- Video Adjust: More...を選択し、OKを押すと、明るさ、コントラスト、色相、および 彩 度を表示します。左右カーソルボタン(◀▶)でそれぞれを調整できます。bを押すと前の画面に戻ります。
- 3D Output: Autoに設定すると、ビデオが3Dビデオ出力を使用する場合、本機は3Dビデオ出力を自動的に表示します。Offに設定すると、3Dビデオ出力は使用されません。
- TV Aspect Ratio: アスペクト比を16:9 Full, 16:9 Normal, 4:3 Pan & Scan、または4:3 Letterboxから選択します。
- TV System: 現在地の放送規格をNTSC、PAL、またはMultiから選択します。デフォルトでは、お住まいの地域に適合した正しいフォーマットに設定されているはずですが、テレビがNTSCとPALの両方のシステムをサポートしている場合は、Multiを選択します。
- Resolution: 画像の解像度をAuto(本機は自動的に最適な解像度を検出します)、480i/576i、480p/576p、720p、1080i、または1080pの中から選択します。
- 1080p24 Conversion: Onに設定すると、24Hzで再生する1080pのBlu-rayビデオを60Hz(NTSC規格の場合)または50Hz(PAL規格の場合)のフレームレートに変換します。Offに設定した場合には、本機は常に24 Hzで1080p 24 Hzのブルーレイビデオを再生します。これが正しく動作するには、お使いのテレビが1080p 24 HzのBlu-rayビデオに対応している必要があります。

**重要:**このオプションは、1080p解像度のHDMI出力にのみ適用されます。

- DVD 24p Conversion: Onに設定すると、24Hzで再生される1080p DVDビデオを60Hz(NTSC規格の場合)または50Hz(PAL規格の場合)のフレームレートに変換します。Offに設定した場合には、本機は常に24 Hzで1080p 24 HzのDVDビデオを再生します。これが正しく動作するには、お使いのテレビが1080p 24 HzのDVDビデオに対応している必要があります。

**重要:**このオプションは、1080p解像度のHDMI出力にのみ適用されます。

- HDMI Color Space: HDMI出力の色空間を選択します。RGB PC Level(ほとんどのコンピューターディスプレイの標準)、YCbCr(4:4:4色空間)、YCbCr 4:2:2(ビデオディスクの元の色空間に最も近い近似値)、またはRGB Video Level(ほとんどのビデオディスプレイの標準)の中から選択します。
- HDMI Deep Color: HDMI出力のディープカラーモードを、30 bits、36 bits、48 bits、またはOff(24 bits)の中から選択します。各設定は、HDMI v1.3ピクチャーが使用するビット深度の合計を示しています。より高いビット深度を使用すると、グラデーションと色の遷移が改善されます。この機能が正しく動作するには、お使いのテレビがHDMI v1.3に対応している必要があります。

## ● クローズキャプション

- CC Attribute: Autoに設定されている場合、クローズドキャプション機能はデフォルトのフォント、サイズ、色、不透明度などを使用します。Customに設定すると、これらの属性を好みに合わせて選択できます(後述)。
- Font Color: テキストの色を、Default、White、Black、Red、Green、Blue、Yellow、MagentaまたはCyanの中から選択します。
- Font Size: テキストのサイズを、Default、Standard、SmallまたはLargeの中から選択します。
- Font Style: テキストスタイルを、Default、Monospaced with serifs、Proportionally spaced with serifs、Monospaced without serifsまたはProportionally spaced without serifsの中から選択します。
- Font Opacity: テキストの不透明度を、Solid(不透明)、Translucent(半透明)、またはTransparent(透明)の中から選択します。
- Font Edge: テキストの文字を囲むエッジのスタイルを選択します。Default(デフォルト)、None(無し)、Raised(盛り上がった)、Depressed(凹んだ)、Uniform(均一)、Left drop shadow(左ドロップシャドウ)または、Right drop shadow(右ドロップシャドウ)の中から選択できます。
- Font Edge Color: テキストの文字周りのエッジ色をDefault、White、Black、Red、Green、Blue、Yellow、MagentaまたはCyanの中から選択します。
- BG Color: 背景の色をDefault、White、Black、Red、Green、Blue、Yellow、MagentaまたはCyanの中から選択します。
- BG Opacity: 背景の不透明度を、Solid(不透明)、Translucent(半透明)、またはTransparent(透明)の中から選択します。
- Window Color: テキストの周囲のウィンドウの色をDefault、White、Black、Red、Green、Blue、Yellow、MagentaまたはCyanの中から選択します。
- Window Opacity: テキストの周囲のウィンドウの不透明度をSolid(不透明)、Translucent(半透明)、またはTransparent(透明)の中から選択します。

## オーディオ設定

### ● 機能

- Secondary Audio Mark: Onに設定すると、ピクチャー・イン・ピクチャー機能を使用して表示できるセカンダリビデオがあることを示すマークが画面に表示されます。Offに設定すると、これらのマークは無効になります(この機能は、対応するディスクでのみ使用できます)。

### ● フォーマット

- HDMI Audio: HDMI出力から送信されるオーディオのフォーマットを選択します。Stereo、PCM(HDMI出力が、高度なエンコード無しに、テレビやレシーバーに直接接続されている場合に推奨)、Bitstream(DTS-HD Master AudioやDolby TrueHDなどの高度なエンコーディングに対応したオーディオ/ビデオレシーバーを使用時に推奨)。
- Coaxial/Optical Output: 同軸出力から送信されるオーディオのフォーマットを選択します。48K(ほとんどのオーディオ機器で対応)、96K(より広い周波数レスポンスで、高いサンプリングレート)、192K(最も広い周波数レスポンスで最高のサンプリングレート)、またはBitstream(DTSやDolby Digitalなどの高度なエンコーディングをサポートするオーディオ/ビデオレシーバーまたはプロセッサを使用する場合に推奨)。

### ● サウンドコントロール

- Crossover: サウンドシステムのクロスオーバー周波数を選択します。Off、40Hz、60Hz、80Hz、90Hz、100Hz、110Hz、120Hz、150Hz、175Hz、200Hz、または250Hzの中から選択できます。この設定より低い周波数のオーディオコンテンツはサブウーファーに送信されます(存在する場合)。
- Dynamic Range: Onに設定すると、本機はオーディオの高音量と低音量を滑らかにするために一定量の圧縮を適用します。Offに設定すると、圧縮を使用しません。Autoに設定すると、再生中のBlu-rayディスクで指定された圧縮が使用されます(他のディスクの場合、圧縮は適用されません)  
**重要:** このオプションはオーディオ出力と7.1出力に適用されます。  
 また、Format > HDMI Audio設定がPCMの場合は、HDMI出力にも適用されます。

### ● スピーカー設定

- Configuration: サウンドシステムのチャンネル設定を2.x、3.x、4.x、5.xまたは7.xの中から選択します。
- Test Tone: サウンドシステムのスピーカーからテストトーンを再生する場合に選択します。左右カーソルボタン(◀▶)を使って、ダイアグラムからスピーカーを選択します。

### ● 出力制御

- Output Volume: Variableに設定すると、リモコンのVol -/+ボタンを使って、オーディオ出力と7.1出力の音量を調整できます。Fixedに設定すると、リモコンのVol -/+ボタンは無効になり、音量は最大音量に設定されます(後述)。
- Maximum Volume: オーディオ出力と7.1出力の可能な最高音量レベルを-10dB、-6dB、0dB、+6dB、または+10dBから選択します。音量を大きくすると歪み(クリッピング)が発生し、アンプやスピーカーが損傷する恐れがあります。出力ボリューム(上記参照)がFixedに設定されている場合、オーディオ出力と7.1出力はこの音量でオーディオを再生します。

## ネットワーク設定

### ● 機能

- BD-Live Network Access: インターネット上のBD-Liveコンテンツへのアクセスレベルを、Permitted(すべてのコンテンツにアクセスできます)、Partial Permitted(特定のコンテンツのみにアクセスできます)、Prohibited(BD-Liveコンテンツはブロック)から選択します。この機能が正しく動作するためには、本機をLANポート経由でインターネットに接続する必要があります。
- BD-Live: BD-Liveコンテンツ(存在する場合)にアクセスしている間、本機がファイルをダウンロードする場所を管理します。OKを押して、各オプションを設定するウィンドウを開きます。
  - BUDA Setup: このウィンドウには、選択したドライブの空き容量が表示されます(後述)。OKを押してドライブをフォーマットします(ドライブすべてのコンテンツが消去されます)。
  - Please select the BUDA mode: ダウンロードしたBD-Liveファイルを保存するライブを、External(本機のUSBポートに接続されたUSBドライブ)またはOn board(本機の内部メモリ)から選択します。一部のコンテンツを適切にダウンロードするには、ドライブに一定量の空き領域が必要です(上記参照)。  
**重要: USBドライブにはNTFSファイルシステムを使用しないでください。**

### ● 設定

- Interface: 本機がインターネットにアクセスする方法を、Ethernet(LANポートをイーサネット回線に接続する必要があります)またはWireless(本機はワイヤレスルーターに接続します)から選択します。この設定を変更すると、続行するかどうか尋ねられ、現在の接続が切断されます。Wirelessを選択する場合は、Scan(使用可能なネットワークを表示)、Manual(ネットワークサービスセットID [SSID]を手動で入力)、またはAuto(Wi-Fi Protected Setup [WPS])から、ネットワークの接続方法を選択します。  
ネットワークに接続する方法でAutoを選択した場合は、PBC(Nextを選択したら、ルーターのWPS /リセットボタンを120秒以内に押してください)、またはPIN(画面に表示されているPINをワイヤレスルーターまたはアクセスポイントのソフトウェアコントロールパネルに入力します)から選択します。
- Information: このオプションは、インターネット接続に関する以下の情報を表示するウィンドウを開きます。インターフェイス、アドレスタイプ、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS1、およびDNS2。(DHCPがOffに設定されている場合は、リモコンでこの情報を手動で入力することができます。下記を参照してください) Returnキーを押すと、前のメニューに戻ります。
- Connection Test: 本機のインターネットへの接続を確認するには、このオプションを選択します。
- DHCP: Onに設定すると、本機はDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)を介してIPアドレス情報を取得します。Offに設定すると、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS1、およびDNS2を手動で入力する必要があります。
  - 左右カーソルボタン(◀▶)を使って四角間を移動します。
  - 番号ボタン(0~9)を使用して、各スクエアの番号を選択します。
  - 下カーソルボタン(▼)を押して番号を削除します。
  - OKを押してアドレス全体を確定します。
  - Returnを押して、取り消しを行い、前のメニューに戻ります。

- **Wireless Setting:** ワイヤレスネットワークへの接続方法を、Scan(使用可能なネットワークを表示)、Manual(ネットワークサービスセットID [SSID]を手動で入力)、またはAuto(使用可能なネットワークに自動的に接続)から選択します。なお、Interface設定(上記を参照)はWirelessに設定する必要があります。  
ネットワークに接続する方法でAutoを選択した場合は、PBC(Nextを選択したら、ルーターのWPS /リセットボタンを120秒以内に押ししてください)、またはPIN(画面に表示されているPINをワイヤレスルーターまたはアクセスポイントのソフトウェアコントロールパネルに入力します)から選択します。
- **Proxy Setting:** Disableに設定すると、本機はプロキシサーバーを使用しません。Enableに設定すると、本機は、プロキシホストとプロキシポートウィンドウの情報を利用し、プロキシサーバーを使用します。
  - **Proxy Host:** カーソルボタン(◀▶▲▼)を使用して、ウィンドウ内のボタン間を移動します。OKを押してそのボタンを押します。Returnを押して前のメニューに戻ります。
  - **Proxy Port:** 数字ボタン(0~9)を使用して、各スクエアの番号を選択します。Returnを押して前のメニューに戻ります。

## デバイスの設定

### ● ファームウェア

- **Version:** DN-500BDMKII本体の現在のファームウェアバージョン
- **Upgrade:** ファームウェアをアップグレードするときに、本機がファームウェアファイルにアクセスする方法を、Disc、USB Storage、またはNetworkから選択します。ファームウェアアップデートファイルに添付された指示に従ってください。

### ● 設定

- **Remote Control Code:** 他のDenon Professional製品を使用している場合、それらが意図せず本機のリモコンに応答する場合があります。このような場合には、通信を別々に保つために、別のリモコンコード(Code 1、Code 2、またはCode 3)を選択します。
- **HDMI CEC:** Onに設定すると、本機のリモコンは、HDMI出力に接続されたテレビ(HDMI CEC対応のテレビが必要)と本機にコマンドを送信できます。Offに設定すると、本機のリモコンは本機にのみコマンドを送信します。
- **Setup Management:** 本機のすべての設定を接続されたUSBドライブに、.binファイルとして保存するには、Exportを選択します。Importを選択すると、以前に保存した本機の.binファイルを、接続されたUSBドライブからインポートできます。
- **Reset Factory Defaults:** OKを選択すると、本機の現在の設定がすべて消去され、工場出荷時の設定が復元されます。OKを選択すると、(本機を初めてセットアップしたときと同様に)初期ウィザード画面が表示されます。
- **Serial Bit Rate:** 9600、38400、または115200のシリアルビットレートを選択します。

## オプション

Optionsメニューでは、Settingメニューに入ることなく再生中に特定の設定を変更できます。メニューが画面の左側に表示されます。使用可能なオプションは、現在使用しているメディアの種類に依存します。それぞれ、DVDまたはBlu-rayディスクはBDMVオプション、ビデオファイルはビデオオプション、オーディオCDはオーディオCDオプション、オーディオファイルはオーディオファイルオプション、画像は画像ファイルオプションを参照してください。

オプションメニューを表示/非表示を切り替えるには、リモコンのOPTIONを押します。または、RETURNキーを押してOptionsメニューを閉じます。

Optionsメニューでは、以下の操作を行います。

- リストを移動するには、上下カーソルボタン(▲▼)を使用します。現在の項目は青で囲まれています。
- 項目の右側に矢印(▶)がある場合は、OKまたは右カーソルボタン(▶)を押して、追加オプションを含むサブメニューを開くことができます。
- サブメニューで、上下に矢印がある場合(▲▼)、上下カーソルボタン(▲▼)を使って前/次のオプションを選択できます。OKまたは左カーソルボタン(◀)を押して選択を確定し、サブメニューを閉じます。
- アイテムの右側に矢印がない場合は、OKを押して使用可能なオプションを順番に実行するか、コマンドを実行します。

## BDMVオプション

- Title: 左側の数字は現在再生中のタイトルで、変更することができます。右の数字はタイトルの総数です。
- Chapter: 左側の数字は、現在再生中のチャプターで、変更することができます。右の数字はチャプターの総数です。
- Time: タイトルの経過時間(TT)、タイトルの残り時間(-TT)、チャプターの経過時間(CH)、チャプターの残り時間(-CH)を時間で表示する場合に使用します。
- Audio: 使用可能な設定は、ビデオでサポートされているオーディオ設定に依存します。たとえば、ビデオファイルではStereo、Mono、LeftまたはRightを選択でき、Blu-rayディスクではDTS-HD MA(マスターオーディオ)またはDolby Digitalをさまざまな言語で選択できます。
- Angle: 左側の数字は現在の角度です(変更可能な場合)。右側の数字は利用可能な角度の総数です。この機能は、特定のDVDまたはBlu-rayディスクでのみ使用できます。
- Subtitles: 利用可能な設定は、ビデオが対応している字幕言語によって異なります。
- Subtitle Style: 使用可能な設定は、ビデオが対応している字幕言語によって異なります。
- Second video (PIP): ピクチャー・イン・ピクチャー機能を有効(On)または無効(Off)にします。この機能を使用すると、通常画面の再生中に、小さな画面で追加のコンテンツを表示できます。この機能は、それに対応するディスクでのみ使用できます。
- Second audio: ピクチャー・イン・ピクチャー機能で使用するオーディオを有効(On)または無効(Off)にします。この機能は、それに対応するディスクでのみ使用できます。
- Bitrate: ビデオまたはオーディオの現在のビットレートを表示します。
- Still Off: ビデオの画像をオフにし、オーディオの再生を続けることができます。この機能は有効(On)または無効(Off)を選択できますが、一部のビデオディスクでのみ対応しています。
- Ins Search: OKを押すと、ビデオをゆっくりスキャンします。
- Ins Replay: OKを押すと、ビデオの10秒前に戻ります。
- CC Select: クローズドキャプションの設定(Off、Analog CC 1-4)を選択します。

## ビデオオプション

- **File**: 左側の数字は現在再生中のビデオファイルで、これは変更することができます。右側の数字は、フォルダ内のビデオファイルの合計数を示しています。
- **Title**(利用可能な場合): 左側の数字は現在再生中のタイトルで、これは変更することができます。右の数字はタイトルの総数を示しています。
- **Chapter**(利用可能な場合): 左側の数字は、現在再生中のチャプターで、これは変更することができます。右の数字はチャプターの総数を示しています。
- **Time**: 時間を経過時間または残り時間として表示する場合に使用します。タイトルとチャプターがある場合は、タイトルの経過時間(TT)、タイトルの残り時間(-TT)、チャプターの経過時間(CH)、チャプターの残り時間(-CH)を表示できます。
- **Mode**: Normal、Random、または Shuffleの再生モードを選択します。
- **Audio**: 使用可能な設定は、ビデオで対応しているオーディオ設定によって異なります。たとえば、ビデオファイルではStereo、Mono、LeftまたはRightを選択でき、Blu-rayディスクではDTS-HD MA(マスターオーディオ)またはDolby Digitalをさまざまな言語で選択できます。
- **Subtitles**: 使用可能な設定は、ビデオで対応している字幕言語によって異なります。
- **Bitrate**: ビデオまたはオーディオの現在のビットレートを表示します。
- **Ins Search**: OKを押すと、ビデオをゆっくりスキャンします。
- **Ins Replay**: OKを押すと、ビデオの10秒前に戻ります。

## オーディオCDオプション

- **Track**: 左側の数字は現在再生中のトラックで、変更することができます。右側の数字は、ディスクまたはプログラム内のトラックの合計数を示しています。
- **Time**: トラックの経過時間(Track)、トラックの残り時間(-Track)、ディスクの経過時間(Disc)、またはディスクの残り時間(-Disc)を表示します。
- **Mode**: Normal、Random、または Shuffleの中から再生モードを選択します。
- **Bitrate**: オーディオの現在のビットレートを表示します。
- **Ins Search**: OKを押すと、オーディオをゆっくりスキャンします。
- **Ins Replay**: OKを押すと、オーディオの10秒前に戻ります。

## オーディオファイルオプション

- **File**: 左側の数字は現在再生中のオーディオファイルで、変更することができます。右側の数字は、フォルダまたはプレイリスト内のオーディオファイルの総数を示しています。
- **Time**: ファイルの経過時間またはファイルの残り時間を表示する場合に使用します。
- **Mode**: Normal、Random、または Shuffleの中から再生モードを選択します。
- **Bitrate**: オーディオの現在のビットレートを表示します。
- **Ins Search**: OKを押すと、オーディオをゆっくりスキャンします。
- **Ins Replay**: OKを押すと、オーディオの10秒前に戻ります。

## 画像ファイルオプション

- File: 左側の数字は現在表示されている画像ファイルで、変更することができます。右側の数字は、フォルダ内の画像ファイルの総数を示しています。
- Mode: Normal、Random、または Shuffleの中から再生モードを選択します。
- Slide Show Rate: スライドショーの速度を Slow、Middle(中)、または Fast から選択します。
- Transition: スライドショーを1つの画像から別の画像に移動する方法を選択します。

None 無し	Box In ボックスイン	Interlace H 水平インターレース (水平)	Split In H 水平方向に分割 (水平)
Wipe Left 左ワイブ	Box Out ボックスアウト	Interlace V 垂直インターレース (垂直)	Split In V 垂直方向に分割 (垂直)
Wipe Right 右ワイブ	Blending 混合		Split Out H 水平方向に分割 (水平)
Wipe U 上ワイブ	Dissolve 溶解		Split Out V 垂直方向に分割 (垂直)
Wipe Down 下ワイブ			

## 付録

### 技術仕様

#### デジタル・システム

システム:	デジタルメディア・プレーヤー(Blu-ray(ブルーレイ)ディスク、DVD、CD、USBマストレージ)、AVCHD再生フォーマット
対応ディスクフォーマット:	Blu-ray(ブルーレイ)ディスク:BD25、BD50、BD-ROM、BD-R、BD-RE DVD: DVD、DVD+R、DVD-R、DVD+RW、DVD-RW CD: CD、CD-R、CD-RW、DTS Music Disc (DTS Audio CD、5.1 Music Disc)、HDCD、Super Video CD (SVCD)、Video CD (VCD)
対応ファイルフォーマット:	動画: .3gp、.asf、.avi、.dat、.divx、.mkv、.mov、.mp4、.mpg、.m2ts、.ogm、.rmvb、.tp、.ts、.wmv サブタイトル: .ass、.smi、.srt、.ssa、.sub 音声: .ape、.flac、.m4a (AAC)、.mp3、.wav、 静止画: .gif、.jpg、.png
対応ファイルシステム:	FAT16、FAT32、NTFS USBマストレージ・デバイス(容量2TB未満)、SDカード(容量128GB未満)
動画:	解像度: Auto、480i/576i、480p/576p、720p、1080i、1080p アスペクト比: 16:9フル、16:9ノーマル、4:3パン&スキャン、4:3レターボックス システム: NTSC、PAL、Multi (TV対応の場合) HDMI色空間: RGB PC Level、RGB Video Level、YCbCr (4:4:4)、YCbCr 4:2:2 出力: HDMI > v1.4 (3D)、HDCP 1.4 デコード: 動画: DivX 3、4、5、6、DivX HD、MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4、MPEG-4 AVC (H.264)、VC-1 (Windows Media Video)、Xvid 音声: AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS Digital、Surround、DTS-HD、WMA

#### 音声

アナログ出力:	出力レベル(XLRバランス): +4 dBu = +1.786 dBV 出力レベル(RCAアンバランス): +6 dBV
デジタル出力:	出力レベル(コアキシャル): 0.5V、75Ω シグナルフォーマット: AES/EBU
サラウンド:	DTS-Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio DTS Digital Surround、Dolby TrueHD Dolby Digital (AC-3)、Dolby Digital Plus (7.1ch)
周波数特性:	20 Hz ~ 20 kHz(+0.5 dB)
S/N比:	> 100 dB(A-weighted)
THD:	< 0.05%
ダイナミックレンジ:	> 100 dB(A-weighted)
ヘッドルーム:	6 dB
チャンネル・セパレーション:	> 90 dB

## コミュニケーション

---

リモートコントロール:	赤外線、> 200 mV送信出力レベル
シリアル・リモート:	端子(D-sub 9ピンRS-232C) モード(全二重) ボーレート(9600または38400 または115200bpsを選択)
Ethernet:	端子: LAN端子 規格: Ethernet (10bps) 高速Ethernet (100Mbps)

## その他・一般

---

端子:	XLRオーディオ出力端子 x 2基(L/R、バランス) RCAオーディオ出力端子 x 2基(L/R、アンバランス) RCAオーディオ出力端子 x 8基(7.1サラウンド) コアキシャル・デジタルオーディオ出力端子 x 1基 HDMI出力端子 x 1基 RJ-45 LAN端子 x 1基 D-sub 9ピンRS-232C端子 x 1基 IEC電源端子 x 1基
電源:	IEC端子、AC100~240 V・50/60 Hz 消費電力: 15W(スタンバイ時:< 0.5 W)
動作環境:	温度: 5~35℃ 湿度: 25~85%(結露のないこと)
サイズ:	約483 x 273 x 44 mm(W x D x H)
重量:	約2.7 kg

## 商標およびライセンス

Denonは、D&M Holdings Inc.の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Blu-ray、Blu-ray Disc、およびロゴはBlu-ray Disc Associationの商標です。

DolbyとダブルDシンボルはDolby Laboratoriesの登録商標です。

DivXとDivXマークは、DivX, LLCや関連会社の商標または登録商標で、ライセンスのもとで使用されています。

DTS-HD Master Audioとシンボルは、DTS, Incの商標です。

HDMIとロゴは、米国およびその他の国々において、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

Javalは、Oracleおよび関連会社の登録商標です。

その他、すべての製品名、会社名、商標やトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

